



第1講座 プロジェクト管理技法の向上

1. 概要

プロジェクトマネージャとして必要なプロジェクトに対する基本的な概念の把握、プロジェクト計画・運営・完了評価での留意ポイント・必要技法の紹介を行う。また、グループ演習により理論と経験の結び付けを行う。

本年度のポイント: 基本的な理解度を深めるために、アードバリューグラフや品質管理グラフからの状況把握演習を行います。また、開発方法論の概要理解にXP 開発についても簡単に触れ、新しい方法論に対する認識の向上をはかる。

2. 対象者
- ・システム開発の初級リーダー・サブリーダー
 - ・近々にリーダー職に付く開発担当者
 - ・経験は豊富だが基礎理論の補強を希望するリーダー

3. 目標
- ・経営的な視点を持ったプロジェクト管理ができる
 - ・基本的な論理に基づいた効果的なプロジェクト管理ができる
 - ・プロセス成熟度の向上を目指すプロジェクト管理の活動が継続できるようになる

4. コース内容

1日目	2日目
<p>■プロジェクトマネジメントの基本</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) プロジェクトとは (2) プロジェクトマネジメントの目的 (3) 経営的視点から見たプロジェクトマネジメント (4) プロセス成熟度を意識した運営 <p>【演習】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プロセス成熟度判定 <p>■プロジェクト計画策定の基礎</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) プロジェクト管理の知識体系 (2) プロジェクト計画策定時の考え方 (3) スケジュールリングの仕方 (4) スケジュールの短縮法 <p>■組織要員計画の基本的な考え方</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) プロジェクト組織 (2) リソースの割り当て (3) コミュニケーション計画で必要なこと <p>■リスク管理計画</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) リスク管理計画に必要な事項 (2) リスク対応策と策定法 <p>■管理指標</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 管理指標がなぜ必要か (2) プロジェクトを管理するための指標とは <p>【演習】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・WBS 作成とリスク対策 	<p>■プロジェクト運営管理</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 代表的な開発手法とその管理ポイント (2) 代表的進捗管理ツール (3) 進捗管理指標 (4) リスクへの対応 <p>【演習】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アードバリューグラフからの判断 <p>■品質管理</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 品質とは (2) 品質特性 (3) 品質のマネジメントポイント (4) レビューにおける品質管理 (5) テストにおける品質管理 <p>【演習】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・品質管理グラフからの判断 <p>■プロジェクト完了評価</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) なぜプロジェクトの完了評価が必要なのか (2) 完了評価のポイント <p>【演習】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・問題の発見と対応策の策定

5. 講師 (株)アイティ・アシスト 小峯 嘉明 氏

6. 受講料 会 員 5,500円 (うち消費税 500円) (生産性向上支援訓練委託事業対象)
非会員 5,500円 (うち消費税 500円) (生産性向上支援訓練委託事業対象)

7. 開催方法 リモート研修(Zoomにて実施)

8. 実施日時(募集人数:15~20名程度)

実施日程	開講時間
9月25日(水)	9:00~17:00
9月26日(木)	9:00~17:00



第2講座 現場社員のための組織行動力向上

～ 「自分事」として仕事をしていますか？ ～

1. 概要

組織の上層部だけが危機意識を持ち企業運営をしても、企業は健全な動きをしません。現場で働いている社員のうちから経営的な視点や考え方を理解し、上司の補佐、後輩の育成等を行いながら生産性向上のためのビジネス感覚を養っていく必要があります。研修では、社員一人ひとりが自ら企業運営の一員として、主体的に問題解決や業務改善に取り組んでいくことができるような知識・考え方を身につけることを目的としています。

2. 対象者 初任～中堅社員(2年目以上の社員の方)

- #### 3. 目標
- ・企業活動の目的とコスト感覚について理解する。
 - ・現場の問題と改善策を理解する。
 - ・チームマネジメントを理解する
 - ・主体的な行動ができるフォロワーの役割を理解する。

4. コース内容

1日目	2日目
<p>■企業組織と生産活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業の存在目的 ・企業経営のしくみ ～サステイナブルな経営 ・生産活動の目的と目標 ～企業のステークホルダー ・経営層の視点とコスト感覚 ・①ケーススタディ研究 <p>■状況変化に対応する現場力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・状況に応じた臨機応変力 ・経営方針、事業計画を考慮した判断力 ・現場のスキル継承の必要性と方法 ・人材育成の意識付け ・自身の専門性向上 他 <p>■経営方針・事業計画について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自社の内容確認 ・メンバーへの説明の必要性 	<p>■成果を上げる業務改善について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「問題」と「課題」 ・問題を発見するには ・課題を設定するには ・解決行動の計画立案 ・チームメンバーを巻き込んで行動するには ・②ケーススタディ研究 <p>■フォロワーシップと組織行動力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フォロワーシップの役割と必要性 ・リーダーシップとの違い ・組織心理学の応用 ・チームマネジメントへの応用 <p>■現場の社員として知っておきたいトレンド Word</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ダイバーシティマネジメント ・ナレッジマネジメント ・アンコンシャスバイアス ・パワーハラスメント <p>■2日間のまとめ</p>

5. 講師 有限会社アベレ 蛭原 恵子氏

- #### 6. 受講料
- 会 員 5,500円(うち消費税 500円) (生産性向上支援訓練委託事業対象)
非会員 5,500円(うち消費税 500円) (生産性向上支援訓練委託事業対象)

7. 開催方法 リモート研修(Zoomにて実施)

8. 実施日時(募集人数:15～20名程度)

実施日程	開講時間
10月16日(水)	9:00～17:00
10月17日(木)	9:00～17:00



第3講座 テレワーク業務における労務管理

1. 概要

テレワーク特有の労務管理上の課題および対応策を理解し、自社の労務管理を見直していくためのポイントを習得していきます。

2. 対象者 中堅、管理者層(3年目以上の社員の方)

- ### 3. 目標
- ・テレワーク促進のための課題を理解する。
 - ・テレワークに対応した就業規則、人事評価制度に必要な知識を理解し策定できる。
 - ・テレワークにおける勤怠管理の方法、安全衛生対策を知り対応策を検討できる。

4. コース内容

1日目	2日目
<p>■オリエンテーション</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テレワークの推移 ・テレワークのメリット、デメリット ・テレワーク時の問題点の抽出 ・テレワークに適切な業務 ・企業事例 <p>■テレワーク時の労働時間の管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・業務プロセスの管理手法 ・就業時間、残業の管理 <p>■テレワーク時のコミュニケーション</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テレワークコミュニケーションツール ・雑談の効用 ・朝打合せ時のコツ 他 <p>■テレワーク時の部下の評価～人事評価の考え方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テレワーク時の問題点と適切な人事評価基 ・評価基準の見直し 	<p>■テレワークにおける安全衛生の確保と管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全管理関連法令適用 ・生産性のあがる作業環境 ・メンタルヘルス対策 ・リモートハラスメントとは ・リモートハラスメント対策 <p>■演習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テレワーク対応就業規則作成 ・テレワーク導入計画書作成 ・管理職向けテレワークマネジメントポイント集作成 ・一般社員向けテレワーク勤務注意集作成 <p>■まとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2日間の振り返りとまとめ

5. 講師 有限会社アベレ 蛭原 恵子氏

- ### 6. 受講料
- 会 員 5,500円(うち消費税500円) (生産性向上支援訓練委託事業対象)
非会員 5,500円(うち消費税500円) (生産性向上支援訓練委託事業対象)

7. 開催方法 リモート研修(Zoomにて実施)

8. 実施日時(募集人数:15~20名程度)

実施日程	開講時間
11月6日(水)	9:00~17:00
11月7日(木)	9:00~17:00

第4講座 ソフトウェア・エンジニアリング(レビュー)

1. 概要

ソフトウェア・エンジニアリングはサイエンスや学問ではありません。ソフトウェア・エンジニアリングとは何か？システム開発の現場で必要とされ、即時適用できる優先度の高いソフトウェア・エンジニアリングを修得します。また、自ら能動的に学習する、真のソフトウェア・エンジニアへの動機付け、および現代に求められるエンジニア特有の視点と思考を修得します。

2. 対象者
- ・新入社員の基礎教育が完了している若手システム開発者
 - ・システム開発の初級リーダー・サブリーダー

3. 目標
- ・永続的、能動的にソフトウェア・エンジニアリングに対する興味を持つ。
 - ・要求工学、品質工学に対する重要性を理解し、現場に必要なエンジニアの視点を身につける。
 - ・欠陥除去活動であるレビューの視点を養い、開発現場へ適用できるようになる。

4. コース内容

1日目	2日目
<p>■ソフトウェア・エンジニアリング概論</p> <ol style="list-style-type: none">1)ソフトウェア・エンジニアリングとは2)エンジニアリングとサイエンスの違い3)現場への適用 <p>Practice 現場で語られる品質に関する事実</p> <p>■品質エンジニアリング概論</p> <ol style="list-style-type: none">1)品質とは2)ソフトウェア・エンジニアリングにおける品質3)ユーザ要求への適合性4)欠陥と欠陥除去活動(レビューとテストの違い) <p>Practice レビュー効果</p> <p>■要求エンジニアリング概論</p> <ol style="list-style-type: none">1)要求とは2)要求獲得が難しい理由3)要求エンジニアリングの How to4)要件定義で盛り込む品質特性 <p>Practice 要件定義の欠陥検出</p> <p>■レビュー技術</p> <ol style="list-style-type: none">1)レビューとは(レビューの心得)2)各種レビュー技法の概観3)設計レビューでの勘所4)品質トレーサビリティ	<p>【欠陥検出演習 Practice】仕様の検証</p> <ul style="list-style-type: none">・技術的観点・値の定義・適合性の確認 <p>【欠陥検出演習1】 要求仕様中の欠陥検出</p> <ul style="list-style-type: none">・合目的性の確認・ユーザビリティの欠陥検出・定量定義の妥当性確認 <p>【欠陥検出演習2】 外部設計書</p> <ul style="list-style-type: none">・設計書内の整合性・ユーザビリティの欠陥検出・仕様検討不足の検出 <p>【欠陥検出演習3】 詳細設計書</p> <ul style="list-style-type: none">・外部設計書との整合性・設計書内の整合性・仕様不備、検討不足の検出

5. 講師 (株)アイティ・アシスト 戸室 佳代子 氏

6. 受講料 会員 20,000円 非会員 30,000円

7. 開催方法 リモート研修(Zoomにて実施)

8. 実施日時(募集人数:25~30名程度)

実施日程	開講時間
11月13日(水)	9:00~17:00
11月14日(木)	9:00~17:00

第5講座 ソフトウェア・エンジニアリング(テスト)

1. 概要

ソフトウェア・エンジニアリングはサイエンスや学問ではありません。ソフトウェア・エンジニアリングとは何か？システム開発の現場で必要とされ、即時適用できる優先度の高いソフトウェア・エンジニアリングを修得します。また、自ら能動的に学習する、真のソフトウェア・エンジニアへの動機付け、および現代に求められるエンジニア特有の視点と思考を修得します。

2. 対象者
- ・新入社員の基礎教育が完了している若手システム開発者
 - ・システム開発の初級リーダー・サブリーダー

3. 目標
- ・永続的・能動的にソフトウェア・エンジニアリングに対する興味を持つ。
 - ・要求工学、品質工学に対する重要性を理解し、現場に必要なエンジニアの視点を身につける。
 - ・欠陥除去活動であるテスト設計の視点を養い、開発現場へ適用できるようになる。

4. コース内容

1日目	2日目
<p>■ソフトウェア・エンジニアリングの重要性</p> <ol style="list-style-type: none">1)ソフトウェア・エンジニアリングとは2)現場への適用 <p>Practice 現場で語られるテストに関する事実</p> <p>■品質エンジニアリング概論</p> <ol style="list-style-type: none">1)ソフトウェア・エンジニアリングにおける品質2)ユーザ要求への適合性3)要件定義で盛り込む品質特性 <p>■テスト技術</p> <ol style="list-style-type: none">1)テストとは2)コードレビュー3)単体テストの技法4)結合テストの技法5)テスト設計と設計フィードバック6)デバッグに必要な「感性」と「視点」 <p>Practice 単体テストの技法、テスト目的他</p>	<p>【テスト設計演習 Practice】</p> <ul style="list-style-type: none">・運用要件と合目的性 <p>【テスト設計演習1】 単体テスト設計</p> <ul style="list-style-type: none">・限界値分析 <p>【テスト設計演習2】 単体テスト設計</p> <ul style="list-style-type: none">・入力系画面のテスト設計 <p>【テスト設計演習3】 単体テスト設計</p> <ul style="list-style-type: none">・カバレッジ <p>【テスト設計演習4】 仕様変更のテスト設計</p> <ul style="list-style-type: none">・リグレッションテスト <p>【テスト設計演習5】</p> <ul style="list-style-type: none">・テストケースの再利用・設計フィードバック

5. 講師 (株)アイティ・アシスト 戸室 佳代子 氏

6. 受講料 会員 20,000円 非会員 30,000円

7. 開催方法 リモート研修(Zoomにて実施)

8. 実施日時(募集人数:25~30名程度)

実施日程	開講時間
11月20日(水)	9:00~17:00
11月21日(木)	9:00~17:00